

第57回 全国トラックドライバー・コンテスト

学科競技

問題用紙

(競技時間: 60分間)

部門 4トン・11トン・トレーラ・女性

氏名

注意事項

- ① 解答用紙に書かれている受験番号、氏名を確認すること。

受験番号は「『部門コード』 - 『ゼッケン番号（2桁（例：青森県 = 02））』」となる。

部門	部門コード
4トン部門	B
11トン部門	C
トレーラ部門	T
女性部門	W

例) トレーラ部門の青森県代表の選手の場合、受験番号は「T - 02」となる。

- ② 解答はすべて別紙の解答用紙（マークシート方式）に記入すること。
- ③ 解答用紙（マークシート方式）は、鉛筆を使用して必要な箇所にマークすること。なお、誤ってマークした場合は、跡の残らないように消しゴムでしっかりと消すこと。
- ④ この問題用紙は、試験開始の合図があるまで開かないこと。
- ⑤ 問題用紙を一通り見て、印刷の不鮮明なところがあれば挙手をして係員に申し出ること。
- ⑥ 問題用紙に、メモ、計算等を書き込んでも差し支えない。問題用紙は選手がそのまま持ち帰ること。
- ⑦ 試験開始45分経過後より退室してよいが、解答用紙は机上に伏せて、他の選手の妨げにならないよう静かに退室すること。一度退室したら再度入室は認めない。
- ⑧ 時間については、試験終了10分前と5分前に終了の予告をする。
- ⑨ 落とした筆記用具の拾得等、試験時間中に何らかの問題が生じた場合は、挙手をして係員に申し出ること。

I 法規 (40問)

【4肢択一式問題】

問1. 緊急自動車の優先等に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 交差点やその附近で緊急自動車が近づいてきたときは、交差点を避け、かつ左側に寄って一時停止し、進路を譲らなければならない。
- イ 交差点やその附近以外で緊急自動車が近づいてきたときは、道路の左側に寄って進路を譲らなければならない。
- ウ 一方通行路において緊急自動車が近づいてきたときは、道路の右側に寄って進路を譲らなければならない。
- エ 高速自動車国道又は自動車専用道で緊急自動車が本線車道に入ろうとしているときは、徐行又は一時停止して進路を譲らなければならない。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

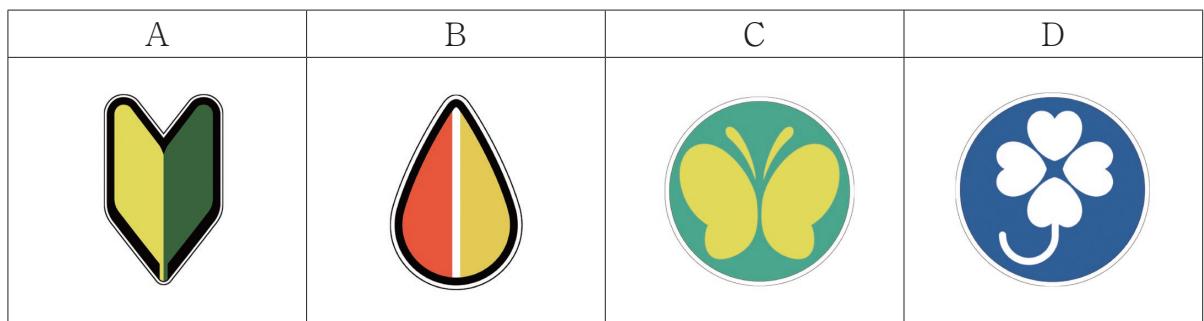
問2. 車両通行帯に関する次の1～4の記述のうち、誤っているものを1つ選び解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1 車両通行帯のない道路を通行する場合、自動車は道路の左側に寄って通行しなければならない。
- 2 車両通行帯の設けられた道路（同一方向に3つ以上の車両通行帯がある場合を除く。）においては、道路の左側端から数えて一番目の車両通行帯を通行しなければならない。
- 3 同一方向に3つ以上の車両通行帯があるときは、その速度に応じ、その最も右側の車両通行帯以外の車両通行帯を通行することができる。
- 4 車両通行帯のある道路で追越しをするときは、通行している車両通行帯の右側又は左側の車両通行帯を通行する。

問3. 高速自動車国道の通行に関する次のア～エの記述のうち、誤っているものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 高速自動車国道における大型貨物自動車の最高速度は、道路標識等により最高速度が指定されていない区間においては 90 キロメートル毎時である。
- イ 高速自動車国道等においては、横断や転回はできないが、後退することはできる。
- ウ 高速自動車国道の本線車道においては、道路標識等により最低速度が指定されていない区間の最低速度は、自動車の種類にかかわりなく 50 キロメートル毎時である。
- エ 本線車道から出ようとする場合において、減速車線が設けられているときは、その減速車線を通行しなければならない。
- 1 一つ
2 二つ
3 三つ
4 四つ

問4. 表示自動車に関する次のA～Dの標識について、1～4のうち、正しい組合せはどれか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。



- | | A | B | C | D |
|---|---------|---------|----------|----------|
| 1 | 初心運転者標識 | 高齢運転者標識 | 聴覚障がい者標識 | 身体障がい者標識 |
| 2 | 初心運転者標識 | 高齢運転者標識 | 身体障がい者標識 | 聴覚障がい者標識 |
| 3 | 高齢運転者標識 | 初心運転者標識 | 聴覚障がい者標識 | 身体障がい者標識 |
| 4 | 高齢運転者標識 | 初心運転者標識 | 身体障がい者標識 | 聴覚障がい者標識 |

【○×正誤式問題】

次の問5から問40までの設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークを付けなさい。

問5. 徐行とは、車両等が直ちに停止することができるような速度で進行することをいう。

問6. 車両が違法停車していると認められるときは、警察官等は、当該車両の運転者に對し、当該車両の停車の方法を変更又は当該車両を当該停車が禁止されている場所から移動すべきことを命ずることができる。

問7. 乗合自動車の停留所を表示する標示柱又は標示板が設けられている位置から10メートル以内の部分（当該停留所又は停留場に係る運行系統に属する乗合自動車の運行時間中に限る。）は、駐車は禁止されているが、停車は禁止されていない。

問8. バス停でバスが発進の合図をしたとき、その後方にある車両は、やむを得ない場合を除き、その道路が追越し禁止道路でなくとも、バスを追い越してはいけない。

問9. 軌道敷内を通行する車両は、後方から路面電車が接近してきたときは、すみやかに軌道敷外に出るか、又は当該路面電車から必要な距離を保つようにしなければならない。

問10. 踏切の警報機が鳴り始めても、遮断機が降り始める前であれば踏切に進入することができる。

問11. 勾配の急な上り坂は、追越し禁止である。

問12. 故障した車両をロープで牽引する場合は、牽引免許は不要である。

問13. 警察官は、道路の損壊、火災の発生その他の事情により道路において交通の危険が生ずるおそれがある場合において、当該道路における危険を防止するため緊急の必要があると認めるときは、必要な限度において、当該道路につき、一時、歩行者等又は車両等の通行を禁止し、又は制限することができる。

問 14. 車両は、その通行している道路と交差する道路を右方から進行してくる車両の進行妨害をしてはならない。

問 15. 横断歩道に接近したとき、横断歩道を横断又は横断しようとする歩行者等があるときは、徐行して歩行者等の通行を妨げないようにしなければならない。

問 16. 車両等の運転者は、児童、幼児等の乗降のため停車している通学通園バスの側方を通過するときは、徐行して安全を確認する。

問 17. 貨物の積卸しのため停車するときは、できる限り道路の左側端に沿い、かつ、他の交通の妨害とならないようにしなければならない。

問 18. 自動車を離れるときは、その車両が他人に無断で運転されることがないようにするため必要な措置を講ずること。

問 19. 左折可の標示板があるときは、対面する信号が黄色や赤色の場合でも左折することができる。

問 20. 道路のまがりかど附近では、徐行しなければならない。

問 21. 右折や転回をするときは、その行為をしようとする地点から 20 メートル手前の地点に達したときに合図をしなければならない。

問 22. 右折矢印信号の場合は、転回が禁止されていない場所であれば、右折と転回ができる。

問 23. 安全を確認しないでドアを開くことは不安全行為ではあるが、違反行為ではない。

問 24. この標識は、「学校・幼稚園・保育所等あり」を示している。



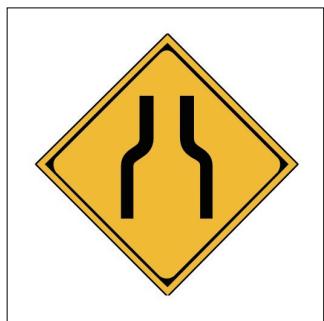
- 問 25. 道路外に出るため右折するときは、あらかじめその前からできる限り道路の中央（一方通行路を除く。）に寄り、かつ、徐行しなければならない。
- 問 26. 対面する信号機が赤色の点滅信号の場合は、車両も歩行者も停止位置で一時停止しなければならない。
- 問 27. 運転免許の欠格期間とは、運転免許が受けられない期間をいう。
- 問 28. 警察官は、積載物の重量の制限を超える積載をしていると認められる車両が運転されているときは、当該車両を停止させ、自動車検査証その他政令で定める書類の提示を求め、当該車両の積載物の重量を測定することができる。
- 問 29. 追い抜きとは、車が進路を変えて、進行中の前の車の前方に出ることである。
- 問 30. 車両は、進路を変更した場合にその変更した後の進路と同一の進路を後方から進行してくる車両等の速度又は方向を急に変更させることとなるおそれがあるときは、進路を変更してはならない。
- 問 31. 車両は、交差点で右折する場合において、当該交差点を左折しようとする車両があるときは、速やかに右折を完了させなければならない。
- 問 32. 駐車場等の道路外施設に入るため歩道を横断するときは、歩道に入る直前で一時停止し、かつ、歩行者の通行を妨げないようにする。
- 問 33. 交通整理の行なわれている交差点に入ろうとする車両等は、前方の車両等の状況により、交差点に入った場合においては当該交差点内で停止し、交差道路における車両等の通行の妨害となるおそれがあるときは、徐行して交差点内に入らなければならない。
- 問 34. 車両の運転者が酒気を帯びていることを知りながら、運転者に依頼して、酒気帯び運転の車両に同乗するのは違反行為である。
- 問 35. 制限外の許可を受けて分割できない積載制限を超える貨物を輸送する場合は、昼間は0.3メートル平方以上の赤色の布を、夜間は赤色の灯火又は反射器をつける必要がある。

問 36. 警音器の使用については、山地部の道路その他曲折が多い道路について道路標識等により指定された区間における左右の見とおしのきかない交差点を通行しようとするときは、警音器を鳴らさなければならない。

問 37. 他の車両等の通行を妨害する目的で、急ブレーキをかけ、それにより交通の危険を生じさせるおそれがある場合は、「妨害運転（交通の危険のおそれ）罪」の適用対象となる。

問 38. 一方通行路となっている道路では、道路の中央から右の部分にはみ出して通行することができる。

問 39. この標識は、車線数が減少することを示している。



問 40. 横断歩道等及びその手前の側端から前に 50 メートル以内の道路の部分においては、その前方を進行している他の車両等（特定小型原動機付自転車等を除く。）の側方を通過してその前方に出てはならない。

Ⅱ 構造機能 (20 問)

【4肢択一式問題】

問 41. 車両総重量に関する下表の A～C に入る数字について、1～4 のうちで 正しい組合せ を 1 つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

自動車の種別	最遠軸距 (メートル)	車両総重量 (トン)	
		[A]	[B]
セミトレーラ 以外の自動車	5.5 未満	[A]	
	5.5 以上	[B]	
	7 未満	(長さが 9 メートル未満の自動車にあつては、[A])	
	7 以上	[C]	(長さが 9 メートル未満の自動車にあつては [A]、 長さが 9 メートル以上 11 メートル未満の自動車にあっては [B])

	A	B	C
1	20	21	22
2	20	22	24
3	20	22	25
4	20	23	25

問 42. 非常信号用具に関する次のア～エの記述のうち 誤っているものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 夜間 200 メートルの距離から確認できる赤色の灯光を発するものであること。
- イ 自発光式のものでないこと。
- ウ 使用に便利な場所に備えられたものであること。
- エ 振動、衝撃等により、損傷を生じ、又は作動するものでないこと。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問 43. 方向指示器に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 方向指示器は、方向の指示を表示する方向 100 メートル(告示で定めるものを除く。)の位置から、夜間において点灯を確認できるものであること。
- イ 方向指示器の灯火の色は、橙色であること。
- ウ 方向指示器は、毎分 50 回以上 100 回以下の一定の周期で点滅するものであること。
- エ 方向指示器は、灯器が損傷し、又はレンズ面が著しく汚損しているものないこと。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問 44. 車両総重量 8 トン以上の事業用自動車に備える「タイヤ」の点検に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア タイヤの溝の深さの点検は、毎回の日常点検で実施しなければならない。
- イ タイヤの空気圧の点検は、走行距離や運行時の状態から判断した適切な時期に行えよ。
- ウ 日常点検では、ディスク・ホイールの取付状態を点検しなければならない。
- エ 12 か月ごとの定期点検では、ホイール・ナット及びホイール・ボルトの損傷を点検しなければならない。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

【○×正誤式問題】

次の問 45 から問 60 までの設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークを付けなさい。

問 45. 尾灯は、夜間にその後方 100 メートルの距離から点灯を確認できるものあり、かつ、その照射光線は、他の交通を妨げないものであること。

問 46. 大型後部反射器は、昼間においてその後方 100 メートルの位置からその赤色部を確認できるものであること。

問 47. 自動車は、自動車検査証を備え付けるか又は国土交通省令で定めるところにより検査標章を表示しなければ、運行の用に供してはならない。

問 48. 道路運送車両法で定める「車両総重量」とは、車両重量、最大積載量及び 60 キログラムに乗車定員を乗じて得た重量の総和をいう。

問 49. タイヤ・チェン等は走行装置に確実に取り付けることができ、かつ、安全な運行を確保することができるものでなければならない。

問 50. セミトレーラ以外の自動車の寸法は、告示で定める方法により測定した場合において、長さ 12 メートル、幅 2.2 メートル、高さ 3.8 メートルを超えてはならない。

問 51. 制動灯の灯光の色は、白色であってもよい。

問 52. 3 か月ごとの点検で異状が認められなかった箇所については、12 か月ごとの点検では省略することができる。

問 53. 「軸重」とは、自動車の車両中心線に垂直な 1 メートルの間隔を有する 2 平行鉛直面間に中心のあるすべての車輪の輪荷重の総和をいう。

問 54. 自動車の輪荷重は、6 トン（告示で定めるものを除く。）を超えてはならない。

- 問 55. 自動車（告示で定めるものを除く。）の後面に備える突入防止装置は、外側端部が後方に曲がっている、又は鋭利な突起を有する等歩行者等に接触した場合において、歩行者等に傷害を与えるおそれのあるものでないこと。
- 問 56. 自動車運送事業の用に供する自動車等の3月ごとに定期点検を実施する自動車の点検整備記録簿の保存期間は、その記載の日から1年間である。
- 問 57. 自動車（告示で定めるものを除く。）の前面ガラス及び側面ガラス（運転者席より後方の部分を除く。）は、透明で、運転者の視野を妨げるようなひずみのないものであること。
- 問 58. 日常点検におけるブレーキ・ペダルを踏み込んで放した場合にブレーキ・バルブからの排気音が正常であるかどうかの点検は、車両総重量8トン以上の自動車に限る。
- 問 59. 自動車は、運行中ばい煙、悪臭のあるガス又は有害なガスを多量に発散しないものでなければならない。
- 問 60. 日常点検における冷却水の量については、当該自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に行うことで足りる。

III 運転常識 (20 問)

【4肢択一式問題】

問61. 踏切の走行に関する次の1～4の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1 踏切を通過しようとするときは、その直前で一時停止をし、窓を開けるなどして自分の目と耳で左右の安全を確かめなければならない。
- 2 前の車に続いて通過するときは、一時停止や安全確認はしなくてよい。
- 3 踏切内では、エンストを防止するため、変速しないで、発進したときの低速ギアのまま一気に通過する。
- 4 踏切内では、歩行者や対向車に注意しながら、落輪しないようにやや中央寄りを通行する。

問62. 業務の都合上、休息期間を分割して与える場合に関し、次のア～エのうち改善基準告示に違反しているものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

ア	拘束時間 5時間	休息期間 3時間	拘束時間 9時間	休息期間 7時間
イ	拘束時間 4時間	休息期間 3時間	拘束時間 3時間	休息期間 6時間
ウ	拘束時間 4時間	休息期間 6時間	拘束時間 10時間	
エ	拘束時間 3時間	休息期間 4時間	拘束時間 5時間	休息期間 4時間

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問63. 自動車運転者の拘束時間に関する次のア～エのうち正しいものはいくつあるか。
解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 宿泊を伴う長距離貨物運送を除き、1日（始業時刻から起算して24時間をいう。）の拘束時間は13時間以内とし、これを延長する場合であっても、上限は14時間である。
- イ 宿泊を伴う長距離貨物運送の場合は、1週について2回に限り、1日の拘束時間を16時間まで延長することができる。
- ウ 1年の拘束時間は原則として3,300時間以内、かつ、1か月の拘束時間は300時間以内である。
- エ 労使協定により、1年のうち6か月までは、1年の総拘束時間が3,400時間を超えない範囲内において、1か月の拘束時間を310時間まで延長することができる。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問64. 事業用貨物自動車の運転者に対する「点呼」に関する次のア～エの記述のうち、誤っているものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 業務前及び業務後の点呼のどちらかを対面で行うことができない場合は、当該点呼のほかに、乗務の途中において、少なくとも1回電話その他の方法により点呼を行わなければならない。
- イ 業務後の点呼では、当該業務に係る事業用自動車、道路及び運行の状況について報告を求め、かつ、運転者に対しては酒気帯びの有無について確認を行わなければならない。
- ウ 酒気帯びの有無について確認を行う場合は、運転者の状態を目視等で確認するほか、当該運転者の属する営業所に備えられたアルコール検知器を用いて行わなければならない。
- エ 点呼を実施したときには、点呼の日時や場所、報告事項や確認事項、指示内容その他の必要事項を点呼簿に記録し、2年間保存しなければならない。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

【○×正誤式問題】

次の問 65 から問 80 までの設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークを付けなさい。

問 65. 休日は、休息期間に 24 時間を加算して得た、連続した時間とするが、いかなる場合であっても、その時間が 30 時間を下回ってはならない。

問 66. 霧で視界が悪いときは、中心線やガードレールや前の車の尾灯を目安にし、速度を落として運転する。

問 67. 坂道では、上り坂での発進がむずかしいため、下りの車が上りの車に道を譲る。しかし、近くに待避所があるときは、上りの車でも、その待避所に入って下りの車を待つ。

問 68. ハンドルを切りながらブレーキを掛けたりすると、横転や横滑りを起こしやすい。

問 69. 風速 20 ~ 30 メートル毎秒の暴風時は、通常の速度で走行することが困難となり、輸送を中止することも検討すべきである。

問 70. 車に乗る前に、車の前後に人がいないか、車の下に子供がいないかを確かめる。

問 71. 夕日の反射などで方向指示器が見えにくい場合は、方向指示器の操作と合わせて、手による操作を行う。

問 72. 夜間は、速度感が鈍り、速度が低下しやすい。

問 73. ぬれたアスファルト路面を走るときは、摩擦抵抗が小さくなり制動距離が短くなる。

問 74. 運転者が疲れているときは、危険を認知して判断するまでに時間がかかるので、空走距離は長くなる。

問 75. 連続運転時間は4時間以内が原則で、運転開始後4時間以内又は4時間経過直後に、30分以上の運転の中止が必要だが、運転の中止は、1回がおおむね連続10分以上とした上で分割することもできる。この場合、1回が10分未満の運転の中止が、4回以上連続してはならない。

問 76. 雨の降り始めの舗装道路はスリップしやすい。

問 77. カーブを回ろうとするときには、自動車の重心に遠心力が働き、自動車はカーブの外側に滑り出そうとするので、荷物の積み方が悪く重心の位置が高くなったり、片寄ったりすると自動車は倒れやすくなる。

問 78. 乗務を終了して他の運転者と交替するときは、交替する運転者に対し、当該乗務に係る事業用自動車、道路及び運行の状況について通告すること。

問 79. 60歳以上の運転者は、国土交通大臣が告示で定める適性診断を受けなければならない。

問 80. 車両総重量が7トン以上又は最大積載量が3.5トン以上の普通自動車である事業用自動車は、瞬間速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を1年間保存しなければならない。

第57回 全国トラックドライバー・コンテスト
学科競技解答

(公社)全日本トラック協会

I. 法規

問	選択肢			
	1	2	3	4
1		2		
2				4
3	1			
4	1			

問	○	×
5	○	
6	○	
7		×
8	○	
9	○	
10		×
11		×
12	○	
13	○	
14		×
15		×
16	○	
17	○	
18	○	
19	○	
20	○	

問	○	×
21		×
22	○	
23		×
24		×
25	○	
26		×
27	○	
28	○	
29		×
30	○	
31		×
32	○	
33		×
34	○	
35	○	
36	○	

問	○	×
37	○	
38	○	
39		×
40		×

II. 構造機能

問	選択肢			
	1	2	3	4
41			3	
42	1			
43		2		
44		2		

問	○	×
45		×
46		×
47		×
48		×
49	○	
50		×
51		×
52		×
53	○	
54		×
55	○	
56	○	
57	○	
58		×
59	○	
60	○	

III. 運転常識

問	選択肢			
	1	2	3	4
61		2		
62	1			
63		2		
64		2		

問	○	×
65	○	
66	○	
67	○	
68	○	
69	○	
70	○	
71	○	
72		×
73		×
74	○	
75		×
76	○	
77	○	
78	○	
79		×
80		×